

25-D-1589  
2026年2月17日

## ダイドーグループホールディングスが減損損失を計上ー今後の国内飲料事業の業績動向を注視

以下は、ダイドーグループホールディングス株式会社（証券コード：2590）の26/1期業績予想の修正についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は2月16日、26/1期業績予想を下方修正した。国内飲料事業の主力の自販機チャネルにおいて収益性が低下し、自販機等の事業関連資産の298億円を減損損失として計上する見込みである。26/1期の親会社株主に帰属する当期純損益は従来予想である30億円の赤字から307億円の赤字へ大幅に下方修正された。
- (2) 今般の最終赤字によって自己資本が約3割毀損することとなり、財務構成の悪化が見込まれる。また、飲料の販売数量の減少やコーヒー豆をはじめとした各種原材料価格の高騰の影響により、26/1期の国内飲料事業は営業損失となる見込みであるなど、収益力の低下が顕著である。JCRは本件をもって直ちに格付を見直す必要ないと判断しているが、今後、国内飲料事業の業績動向を確認の上、格付に反映させていく。

(担当) 井上 肇・三浦 麻理子

### 【参考】

発行体：ダイドーグループホールディングス株式会社

長期発行体格付：A-

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであります。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると默示的であると問わらず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遗漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わらず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わらず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル